

【家庭数配布】

小中一貫校 南アルプス市立白根飯野小学校

学校だより

# 桜梅桃李

【学校教育目標】

～ 郷土を愛し、たくましく生きぬく子ども ～

【9年間で目指す児童像】

～ 思いやり、創造力、すこやかな体をもち、

未来を担う 白根こまっ子 ～

令和8年5月29日 No2 文責 神宮司 剛

## 全校演劇鑑賞教室～表現する力と、受け取る力を学んだ時間～

4月30日、劇団「風の子」さんをお招きし、演劇「奥山ばなし」を鑑賞しました。

公演の前に、子どもたちには「心を静かにして、目と耳と気持ちをしっかり使って楽しみましょう」と話しました。劇は、ただ見るだけではなく、想像しながら味わうものです。登場人物の声や動き、表情、場面の変化を感じながら、子どもたちは少しずつ物語の世界に引き込まれていきました。

特にすばらしかったのは、子どもたちの「観客としての姿」です。自然に手拍子をしたり、大きな声で応援したり、場面の終わりには心のこもった拍手を送ったりと、体育館全体が温かな一体感に包まれました。そして最後の拍手は、なかなか鳴りやみませんでした。止めるのが大変なほど続いたその拍手こそ、子どもたちから劇団の皆さんへの最高の賛辞だったのだと思います。

その反応のよさに、演出家の方も「子どもたちにとっても勇気づけられました」と話してくださいました。

舞台は、演じる人だけでつくられるものではありません。見ている人のまなざし、笑い声、驚き、拍手も、その時間を一緒につくる大切な力です。この日の子どもたちは、劇団の皆さんの表現をしっかり受け取りながら、自分たちの反応で舞台をさらに温かいものにしていました。まさに、最高の観客だったと思います。

公演後には、代表して6年生の飯野ちささんが感想を発表しました。「表現力が高く、びっくりしました。私は児童会本部なので、これからは今日の劇を参考にして、いろいろな事を伝えていきたいです。」

堂々と自分の言葉で感想を伝える姿も、とても立派でした。劇団の皆さんの表現をただ受け取るだけでなく、「自分たちの活動に生かしたい」と考えているところに、6年生らしい頼もしさを感じました。

人に何かを伝えるときには、言葉だけでなく、声の出し方、表情、動き、間の取り方など、さまざまな表現があります。今回の演劇鑑賞は、物語を楽しむ時間であると同時に、「どうすれば思いが伝わるのか」を学ぶ貴重な時間にもなりました。

今回の経験が、これからの児童会活動や日々の学習、友達との関わりの中で、子どもたちの表現する力、伝え合う力につながっていくことを願っています。



## 避難訓練・引き渡し訓練～もしもの時に備えて、命を守る行動を確認～



4月27日(月)に、今年度最初の避難訓練を行いました。今回は、地震を想定し、放送をよく聞いて安全に避難すること、頭を守ること、落ち着いて行動することなどを確認しました。子どもたちは、緊急時にどう動けばよいかを一つ一つ考えながら、真剣な表情で訓練に取り組んでいました。訓練は、ただ決められた通りに動く時間ではなく、「自分の命を自分で守る力」を育てる大切な学びです。

また、5月1日(金)には引き渡し訓練を行いました。保護者の皆様には、お忙しい中、徒歩での来校や引き渡し手順の確認にご協力いただき、ありがとうございました。学校と家庭が同じ流れを確認しておくことは、いざという時の安心につながります。今後も、子どもたちの安全を第一に、学校・家庭・地域で力を合わせて備えていきたいと思えます。

## 児童総会～笑顔ひろがる飯野小を目指して～

5月14日(木)に児童総会を行いました。

3年生以上の児童が体育館に集まり、今年度の児童会テーマや活動のめあてについて話し合いました。今年の児童会テーマは、「みんなの笑顔でレベルアップ ハッピーあふれる飯野小」です。このテーマには、自分たちの笑顔で学校をもっと明るくし、去年よりもさらによい飯野小にしていきたいという願いが込められています。総会では、本部の提案に賛同するだけでなく、修正案を出したり、反対意見を伝えたりする姿も見られました。子どもたちは一つ一つの内容をよく考え、「自分たちの学校を自分たちでよくしていこう」と真剣に話し合っていました。そこには、小さなチャレンジと改善を重ねながら、自分たちの学校を自分たちでつくっていこうとする頼もしい姿がありました。これから、子どもたち自身の手で、ハッピーあふれる飯野小をつくってほしいと思えます。



## 校長コラム チーム担任制・教科担任制

「チーム担任制」という言葉をご存じでしょうか。これまで小学校では、一人の担任が多くの教科を受け持ち、学習面も生活面も支える形が基本でした。一方で、子どもたちの姿や学び方は多様になり、授業づくりにもより多くの準備や工夫が求められています。

そこで本校では、全国の先進的な学校でも導入が進んでいるチーム担任制・教科担任制に取り組みます。複数の教職員で子どもたちを見守り、支える体制づくりです。

1・2年生では、担任を中心に複数のサポートの先生が関わります。3年生は3クラスですので、朝の活動、道徳、音楽、体育などを学年全体で担当し、その他の教科も段階的に担任以外の先生が担当する時間を増やしていきます。4～6年生では、国語担当、算数担当など、教科ごとに担当する先生を変えて授業を行います。

関わる先生が増えることで、子どもたちは相談できる相手が増えます。また、複数の目で見守ることで、一人ひとりのよさや小さな成長にも気づきやすくなり、その成長を子どもたちに言葉で返すことができます。子どもたちが「自分は少しずつ成長している」と実感し、安心してどんどんチャレンジしていける学校を、教職員みんなで力を合わせてつくってまいります。